

ボーイスカウト部門・ベンチャースカウト部門進級課程の改定

平成28年11月1日 公開

平成29年 4月1日 更新

日本連盟プログラム委員会

新たな進級課程がはじまります

活動的で自立したスカウトを育てるため、日々のスカウト活動が行われておりますが、スカウト活動が一貫性のある進歩を重視したものとなるよう、現行のボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の進級課程を一本化（シームレス化）した新たな進級課程へと改定いたします。

公示：平成28年11月1日

施行：平成29年 9月1日

新進級過程の4つの特徴

1. 一貫した進歩制度

本進級課程は、初級スカウトから富士スカウトまでの一貫した進歩制度であり、初級－2級－1級－菊－隼－富士の6段階の進級章を全て取得して到達点である富士スカウト章を目指します。

2. 成長した姿を表わす進歩の目標

本進級課程では、スカウトの成長した姿と求められる技能を表わす進歩の目標を設定し、スカウトは自己の目標を展望できると共に、保護者は自身の子どもの将来の成長した姿を想像することができます。

3. 必要な技能や知識を明確にした必修課目

各進級課目は、これまで選択制としてきた内容を改め、進歩の目標で設定する、目標となる技能や知識の修得を目指す必修課目に内容を改定し、進歩の継続性を重視したものとしています。

4. 内容を刷新した選択課目

必修課目と同様に、これまで選択制としてきたターゲットバッジとマスターバッジの履修を見直し、スカウトに求める基本的な技能を伸ばしつつ興味の幅を広げる選択課目とするため、現行の技能章の改善・新設による改定を行います。

進級記章のデザインを一新

進級記章もデザインを一新し、ボーイスカウト部門からベンチャースカウト部門までを統一したデザインとなります。また、ベンチャー隊の最初の進級課目である「ベンチャー章」は廃止とし、「菊スカウト章」着用後は「隼スカウト章」そして到達点である「富士スカウト章」を目指すこととなります。



必修課目と選択課目のリニューアル

平成23年にボーイスカウト部門のプログラム調査を行い、スカウト技能を着実に身につけていくことのできる必修課目の再構築、そして進級と連動した選択課目の作り直しが必要であるとの評価をいただきました。

- ターゲットバッジを修得することが目標となり、マスターバッジへの修得に至らないことが多い。
- 技能章の修得が進級と連動していないため、より高度な技能への挑戦が減っている。
- ベンチャースカウト部門の本来あるべき「高度な野外活動」を目指すスカウトが減少した。

◎選択課目は技能章のみとします

現行の選択課目である「ターゲットバッジ」「マスターバッジ」「プロジェクトバッジ」を廃止し、現行の技能章を基本に改善・新設し、選択課目を一本化します。

技能章は、スカウト個々の興味・関心に応じて取得可能なものの他に、進級課目と連動して取得を要する技能章があることは現行の進級課程と違いはありません。なお、現行の技能章についても定期的な見直しを行い、新たな形状・デザインに改定します。

<p>進級課目と連動して取得を要する 技能章(全9種) 縁取り：赤 例) 野営管理章、救急章、パイオニアリング章</p> 	<p>興味・関心に応じて取得可能なもの 技能章(一例) 縁取り：緑 例) 通信章、計測章、観察章</p> 
---	--

◎隊長の認定で修得できる技能章を追加します

スカウト技能の修得促進を目指し、審査員ではなく所属隊隊長の認定により修得することのできる技能章を追加（一部従来の技能章細目を見直し隊長認定技能章へ変更）し、スカウト技能の充実を目指します。

技能章により審査の基準が異なりますので、スカウトが取り組む技能章が何であるのか、隊長認定か審査員認定かを把握することが大切です。そのうえで、審査基準に応じて、審査・記章申請を行います。

各隊における移行の準備を進めてください

新たな進級課程については、平成29年9月1日から平成31年3月31日の間で、各隊・団の上進時期を考慮して1年以内に移行することとなります。新たな進級課程に関して、隊や団・所属の地区において、移行のための準備を進めていただきますようお願いいたします。順次、進級課程に関する資料を提供していきます。

以上